

学術研究 「自重献身・自発能動」を具現化するための基礎力（自己評価ルーブリック）

この自己評価表は、あなたの「一高生としての基礎力レベル」を知るためのものです。

・次のⅠ～Ⅻの項目について、レベル1～レベル5の記述をよく読み、あなたが現在到達していると考えられるレベル段階を判断し、下記の記入欄にそれぞれのレベルを1～5の数字で書き込んで下さい。

レベル	前に踏み出す力			考え抜く力			チームワークで働く力					
	・ 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力 ・ 指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動する力			・ 疑問を持ち、考え抜く力 ・ 自ら課題を提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力			・ 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力 ・ グループ内の協調性に留まらず、多様な人々との繋がりや協働を生み出す力					
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	Ⅻ
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール
物事に進んで取り組む力	他人に働きかけ巻き込む力	目的を設定し、確実に行動する力	現状を分析し、目的や課題を明らかにする力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	新しい価値を生み出す力	自分の意見をわかりやすく伝える力	相手の意見を丁寧に聴く力	意見の違いや相手の立場を理解する力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	社会のルールや人との約束を守る力	ストレスの発生源に対応する力	
レベル1	自分のなすべきことがわからないため物事に取り組めない、取り組む意欲がない。	自分自身が状況を理解できていないため他人に働きかけることができない、働きかけようとしていない。	目的が明確でないため行動できない、目的を持たず実行する意欲がない。	課題が何なのかかわからず明確にできない、明らかにしようとしていない。	どのような手順を踏めば課題解決に向かうかわからず計画できない。課題解決に向けて努力しようとしていない。	どのように考えれば新しいアイデアを生み出せるかわからない、新しいアイデアを作り出そうとしていない。	自分の考えを整理できずに伝えられない。考えたり述べたりする意欲がない。	人の意見を理解できない、人の意見を聞く態度が見られない。	人の意見や立場の違いが理解できない、受け入れようとしていない。	自分の置かれている状況を理解できない。現状について考えようとしていない。	ルールやマナーを理解していない、守ろうとしない。	ストレスの原因に向き合わず、対処できずにいる。
レベル2	与えられた課題や、決められた役割の範囲の中で、自分にできることや能力を活かすことができる。	周囲の人々と意識して協働している。	失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さを持って、取り組むことができる。	課題を明らかにするため、現状を把握しようとしている。	課題解決のための手順、方法を前もって立てている。	新しいものを作り出すことを常に意識しながら、そのためのヒントを意欲的に探している。	事前に話すポイントを整理している。	人の意見を素直に聴き入れて理解しようとする態度がある。	自分と他者の意見や立場の共通点や相違点を見つげられる。	自分の置かれた環境、状況をよく把握している。	相手に迷惑をかけないよう、最低限守らなければならないルールや約束・マナーを理解している。	自分なりのストレス解消法を考え、実行している。
レベル3	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組んでいる。	周囲の人々に、ともに行動するように声をかけてしている。	言われた事だけでなく、自ら目的を設定し、その達成に向けて取り組んでいる。	課題を明らかにするため、現状を把握し、意欲的に情報収集や分析を行っている。	課題解決のための手順、方法は、常に複数案を用意している。作業に優先順位をつけて、実現性の高い計画を立てられる。	既存概念にとらわれず、自分の日常的な考え方や視点にもとづいて、課題に対して自分らしいアイデアを出すことができる。	自発的に相手に自分の意見を伝えることができる。しかし、具体性や論理性が不足している。	相手の視点に立つてものごとを考え、相槌や共感等により、相手に話しやすい環境を作ることができる。	自分の考えに固執するのではなく、他人の良い意見を受け入れようとしている。	周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる。	ルールやマナーを理解しており、周囲に迷惑をかけないよう行動できる。	ストレスを感じることもあっても、成長の機会だと捉えている。
レベル4	自分のなすべき事を見極め、困難な事柄にも取り組むことができる。	相手が納得できるように、協力することの必然性(意義、理由、内容など)を伝えることができる。	言われた事だけでなく、自ら目的を設定し、失敗を恐れず行動に移し、確実に取り組んでいる。	課題を明らかにするため、現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる。	課題解決に向けた複数のプロセスの中で最善のものを明らかにし、それに向けた準備をしている。常に計画と進捗状況の違いに留意している。	既存概念にとらわれず、課題に対して様々な視点から物事を見つめ、ひとつのアイデアをふくらませたり、発展させたりすることができる。	具体的な事例や客観的なデータ等根拠をあげながら、自分の意見を論理的にわかりやすく伝えることができる。	相手の話しやすい環境を作り、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出している。	自分の意見を持ちながら、相手の意見や立場を尊重し、良い意見も受け入れることができる。	周囲の人々の役割・使命と自分との関係をよく認識している。	ルールを守るだけでなく、状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律している。	ストレスの原因を見つけ、解消できるよう色々な方法を試すことができる。
レベル5	自分のなすべき事を見極め、自分の強み・弱みを把握し、困難な事柄にも自信を持って取り組むことができる。	状況に応じて相手が納得できる説明をし、理解を得たうえで、周囲の人を動かすことができる。	強い意志のもと、小さな成果に喜びを感じながら、目標達成に向けて粘り強く取り組み続けることができる。	現状を把握して積極的に情報収集や分析を行い、課題を明らかにできる。	課題解決に向けての手立てを効率よく計画でき、進捗状況や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる。	既存概念にとらわれず、課題に対して様々な視点から物事を見つめ、組み合わせをするなどして新しいアイデアを出すことができる。	自分の意見をわかりやすく整理したうえで、相手の立場、気持ちを考え、相手に理解してもらえるように的確に伝えることができる。	相手の意見を、相槌を打ったり質問や投げかけをしたりして、引き出しながら正確に理解することができる。	自分の意見を持ちながら、相手の背景や事情を理解し、異なる意見も共感を持って受け入れることができる。	自分ができること、他人ができること的確に判断し、状況に配慮しながら行動できる。	状況に応じて、社会のルールに則って自らの言動を律し、また周囲に注意を促したりしながら行動できる。	ストレスの原因を見つけ、その対処法を考えて取り除くことができる。
レベル記入欄												

□ クラス・番号・氏名を書き、Ⅰ～Ⅻの項目すべてに1～5の数字を書き込みました(確認したら、□にチェック(レ)を入れる)。